

だいこんさん

「これからガイドヘルパーを始める人へ」



ヘルパーを始めて2年半経っちゃいました。別に給料高くないし、こんなに長く続ける気なかったのに。あと私、福祉とか全く詳しくないよ。続いたのは嫌いじゃないんだよね、この仕事。風雷社中が「ガイドヘルパーから始めよう」キャンペーンやってるし、ガイドヘルパー【注1】知らない人へ向けて……。

確かに、大変なことあるよ。冬の寒い日に歩道で乗り込まれて30分動かないとか、電車内でずっと歩けばなしとか。利用者【注2】と1対1、ヘルパー1人で判断しなきゃいけない場面あるし、誰にも頼れない責任感的なの。でも、些細かな？利用者と一緒に過ごす時間がプライスレスなんだと思う、たぶん。

仕事の内、外出支援【注3】は楽しむ事が大切だと勝手に信じてる（送迎支援は、時間内に目的地に着く必要があるから別だけど）。利用者が楽しむだけじゃなく、自分が楽しむ！それを忘れちゃダメ。だって、ヘルパーがつまらなそうだったら、絶対伝わるから。社会参加とか利用者の視野を広げるとか、ぶっちゃけどうでもいいよ。だって、私たちが休日に出かけるとき、そんな目的意識考えないよね？楽しく散歩して、おいしいご飯食べて帰ってくるそれで十分だよ。福祉を知らない私は、こんな風にゆる〜く仕事してます。

2時間かけて辿り着いた羽田空港で食べたアイスは美味しかったし、一緒に見た六義園の満開の桜はいい思い出だよ。利用者まかせも多くて、気付くと未知の所にいたりもするけど（笑）。町歩きとか食べ歩きが好き人には、利用者と一緒に外出することで、一人で歩くのとは違った発見になると思う。いつもじゃないけど、利用者と一緒に良かったなって瞬間がある、それがこの仕事の魅力なのです。（いいこと書いた！）

とにかく、短時間勤務でOKなのもガイドヘルパーの魅力だから、少しでも興味持ってくれるなら、連絡してみれば良いと思うのです（どこも人手不足らしい）。

注1：1人で外出が困難な方が安全に出かけられるよう、移動介護サービスを提供する者。／注2：サービスを受ける人の事。ヘルパーと対になる、福祉業界の用語。／注3：利用者とただお出かけする仕事もある。今風に言うと、レンタルフレンド的な役割？

社説 中村和利の

疾風迅雷忘れる前に書く

『安心できる終の住処』って希望を障害者（高齢者含む）やその家族が、特定の枠組みに求めるのは、社会の中で実態的に当事者を支えてきたのが当事者個人の力や家族って枠組であり、地域とか、福祉ってのが、当事者、家族が支え切れないとこの一部だけしか支えてきていないからと思っている。

地域の中で特定個人に過度の依存的な状況をもたらさないで、地域の繋がりや福祉制度が重層的で多様な支えを構築してきていない現実の中で、安定して見える特定の枠組みに依存対象のシフトを求めるのは当然の帰結点だろう。

『安心できる終の住処』は、常に安全で、終身安定したものであることが求められている。

（ここで「そんなもんはどこにもない！」なんて言わない。求めるでしょ）。

そして、近年『障害者は権利の主体』であるって社会合意が進む中で、安心と安定だけではなく、権利保障を担わなければならない。

安全と安定を最大限確保しながら、居住し続ける権利、転居の自由、経済の独立、特定に依存しない意思決定支援、ケアの選択、社会的孤立に陥らない為の社会参加の保障……など。

家族以外による自立支援の在り方（家族と一緒にの自立については別の機会に）として、入所施設、グループホーム、単身やシェアでの自立生活って在り方ではなくて、当事者や家族から求められるものの一部は、そこなんだろうと思っている。

これから、入所施設やグループホームは権利保障の観点から大きなシフトをしていこうと思う。そして、どんなにシフトしても手に入らない施設としての限界に突き当たると思う。

同時に、単身やシェアでの自立生活を支える制度やインフラも体力をつけていくと思う。でも、施設がもつルーティンが生み出す安心感は手に入らないと思う。

なんてことをツラツラと考えている。

お腹いっぱい？

Take Free!

月刊 まじめにふざける 福祉集団

かうらいうボ、IV



2016/3

「ガイドヘルパーから始めよう」キャンペーン

アースデイ 2016 に出展！

プロ炊飯師ニワノノ支援者は語るシリーズ⑦
～だいこんさん「これからガイドヘルパーを始める人へ」／社説／TransitCafe-Colors

真のく自由を求めて！ 障害福祉と若者支援を
テーマに遊ぶ！ 風雷社中の広報紙

「ガイドヘルパーから始めよう」キャンペーン

アースデイ 2016に出展!

アースデイ東京 2016に『ガイドヘルパーから始めよう』がキャンペーンブースを出店します。

アースデイ東京は地球環境を考えている生産者や環境保護団体など様々なグループが出店して10万人が訪れる楽しいイベントです。飲食エリアには美味しい出店が沢山あるので、休日の外出がてら寄ってみて下さい。

会場：代々木公園（イベント広場・ケヤキ並木）

日程：2016年4月23日（土）、24日（日）

※雨天決行

展示ブース：10:00～17:00

ステージ・飲食エリア：10:00～終了時間調整中

アースデイ（地球の日）とは？（HPより引用）

●地球のことを考えて行動する日、アースデイ

4月22日をアースデイとして、地球環境を守る行動が始まったのは1970年。今やアースデイは、宗派・民族・国家・信条・政党をこえて、世界175か国、約5億人が参加する世界最大の地球フェスティバルとなっています。

●アースデイ東京——毎年10万人以上が集う日本最大級の市民による地球フェスティバル

今年16回目の開催を迎える「アースデイ東京」は、アースデイを祝して、毎年4月に代々木公園を中心として土日の2日間開催しています。2016年も、多様ないのちがつながり合い、ともに生きる持続可能な社会を創ることを目指して、様々な団体による企画や出展、ステージ、こだわりのフードエリアなどを展開します。

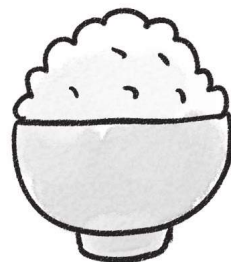
たぶん新連載!

プロ炊飯師ニワノ

お米は炊飯器で炊く、土鍋で炊くなどが通説ではあります。

ただ、パラパラ炒飯を作りたーい、固めご飯でカレーが食べたーい! という時には炊飯器も限界があると思います。

昨年度、NEVERまとめ「わずか5分!米はフライパンでパパッと炊ける」に掲載されたプロ炊飯師ニワノの投稿が記憶に新しいが、更にその領域を超え、現在の炊き方は……否、炊くというよりも「煮る」のである。



米は普段通りに研ぎ、沸騰したお湯の中に米を入れる。お湯は吹きこぼれない程度タップタプでOK。ちなみに吸水はNG。固めにならなくなってしまう。固まらないように適度にかき混ぜながら9分間煮る。この9分というのがとても重要。煮た後はザルにあげて湯切り。

油を張ったフライパンに米を入れ、2-3分程度炒める。炒めた瞬間からとてもパラパラなのが分かると思います。

あとは炒飯にするなり、カレーにかけるなり好きにしてくれいっ!!

感動の米粒が貴方の口の中に。

TransitCafe-Colors 今月のピックアップ



○東京都大田区東矢口3-3-1 TRANSITYARD 1F
○ <http://colors-tokyo.jimdo.com/>
○ colors2013tokyo@gmail.com

東急池上線・蓮沼駅から徒歩すぐの場所にあるイベントスペース。10～15人で満員になってしまう小さな小さな場所ですが、そこにいると、どこかホッとする空間です。音楽ライブ、トークセッション、料理教室、日本酒のシェア会、占い&マッサージ、映画上映、なあ～んにもしないオープンスペースetc. 色とりどりのイベントが満載です。最新情報はウェブサイトから! FacebookページやTwitterのアカウントもご紹介しています。ぜひご覧くださいね!

じゃりカフェ NEWS

じゃりカフェ (at HASUNUMA ☆BASE) の棚をリニューアルしました。ちょっとした模様替えです。ぜひ遊びにきてくださいね!

◎編集後記

今月はコレといった話題がない! と大いに盛り上がり(??)いた『ふうらボ』編集部です。だいたいメディアは新しい情報が好物ですが (NEWSと言いますからネ)、思えば、とりたてて言うほどのNEWSがないというのは、それだけ平和だという証拠かもしれません。福祉を担う事業所としては、もしかしたら、とってもよきこと? (下)

月刊・ふうらいラボⅣ 2016年3月15日発行 無料

発行所：特活!風雷社中 (ふうらいしゃちゅう)

〒146-0094 東京都大田区東矢口3-31-8

※JR蒲田駅より徒歩10分/東急池上線蓮沼駅より徒歩5分

TEL: 03-6715-9324 FAX: 03-6715-9327

mail: in@fuu-rai.com url: <http://fuu-rai.com/>